

# 社会福祉法人宮崎市社会福祉事業団 第一次中期経営計画

(自)平成 28 年 4 月 1 日 (至)平成 33 年 3 月 31 日

## 1. 経営理念

### 人としての尊厳を重んじる姿勢

利用者、その家族の尊厳はもちろんのこと、  
ビジネスパートナーである取引先の方々や、  
当事業団職員ひとりひとりの尊厳を重んじ  
る姿勢で経営を行います。

## 2. 経営ビジョン

社会福祉事業の主たる担い手として、高い公益性と専門性を堅持し、より一層、地域社会に貢献できる事業団を目指します。

## 3. 経営方針

- (1) 福祉サービスを必要とする利用者の要望に応えるため、質の向上を図り、創意工夫して魅力あるサービスの創造に努めます。
- (2) 公正かつ透明性を基本とした効率的な健全経営に努め、経営基盤の強化を図ります。
- (3) 職員一人ひとりが自己研鑽に努め、多様な社会的ニーズに対応します。

## 4. 経営資源

福祉事業の実績やサービスレベルの継続的改善のため、「P(計画) D(遂行) C(確認・評価) A(改革) マネジメントサイクル」を経営システムに組み込み、以下の経営資源を最大限に有効活用していきます。

### (1) 人財

- ・高度で経験豊富な資格専門職
- ・ボランティア
- ・地域住民

## (2) 物的資源

- ・有形固定資産（建物、備品、設備など）
- ・無形固定資産（ソフトウェア）
- ・リース資産

## (3) 財務資源（管理）

- ・予算、決算
- ・財務分析

## (4) 情報資源（管理）

- ・外部ネットワーク（行政、団体、地域）
- ・危機管理
- ・利用者情報（アンケート含む）
- ・職員情報

## (5) スキル・ノウハウ

- ・自己啓発を中心とした課題発見、解決能力育成
- ・普及啓発（高度専門職による講演、PR イベント企画）
- ・組織力（確立した業務手順、職員相互間の信頼関係）
- ・創発的戦略に基づき、職員の自律性・創造性の向上（現場主義）

## 5. 中期経営計画の基本的な考え方

法人の目的、実施すべき事業を具現化するため、経営の理念・ビジョン・方針を明確に掲げ、中期（5年）に渡り事業経営の安定・拡大など経営目標に対する達成状況を検証していきます。

## 6. 財務戦略

財務の健全性を維持しながら、人事・事業戦略への有効かつ効率的な資金投下を行い、持続性のある事業サービスの向上を目指します。

### (1) 運営財源

- ・宮崎市指定管理料・受託金・補助金等による適正な資金調達

### (2) 財務分析

- ・安全性の高い財務構造の構築
- ・効率性や成長性の追求（財源の有効活用）
- ・実績情報から導き出される問題点の解決

### (3) 資金収支計算書【5か年】（案）

- ・別表のとおり

## 7. 人事戦略

### (1) 人材育成 … 創造する能力の向上

- ・自己啓発〔課題発見と解決能力、自己成長と職場活性〕
- ・職場内研修〔指導、ノウハウの継承〕
- ・職場外研修〔専門的能力の習得や視野の拡大〕

### (2) 定員管理計画 … 経験、能力、適性などを考慮した各種事業の必要人員定数を策定し、適正な人材の配置を行います。

## 8. 事業戦略

### (1) 総合発達支援センター

#### ◆ 「2016年L・P・B未来構想～煌(きらめき)～」の推進

- ・L … 地域資源の活用(Local resources)  
一極集中型から広域型への転換
- ・P … 専門職のスキル向上(Professional)  
現場主義の専門職育成、資質向上、技術継承
- ・B … 新たな事業創出(Business creation)  
宮崎市の施策に対する事業提案、協力

### (2) 児童館・児童センター・放課後児童健全育成事業

#### ◆ 子どもたちの幸せや利益の尊重、豊かな人間性や自律による未来創造力の育成→ 「生きる力」のサポート

- ・行事や講座並びに子育て支援の充実
- ・中高生及び障がい児の利用促進
- ・地域交流や多世代交流の行事活性化
- ・児童問題の発生予防と早期発見  
(地域、団体、行政機関との連携強化)
- ・職員のスキル向上

### (3) 老人福祉センター・老人いこいの家

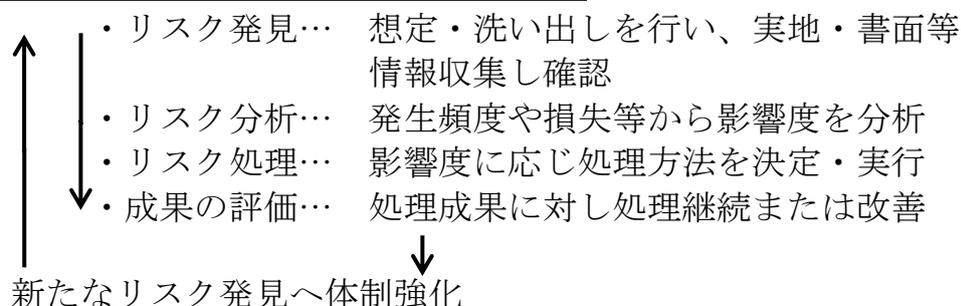
#### ◆ 安全・安心な生きがい支援の拠点づくり、地域のきずなの強化→ 「快適空間」の創出

- ・介護予防、病気予防、体力づくりの推進
- ・衛生管理対策の徹底
- ・地域交流や多世代交流の行事活性化
- ・職員のスキル向上

## 9. リスクマネジメント

施設利用児者の安全・安心確保が重要課題の一つとして、全職員が日々のリスク管理の必要性を認識し、適正な予防対策の随時更新並びに迅速な対応体制を構築・継続していきます。

### (1) リスクマネジメントのサイクル



### (2) 事業継続計画（BCP）

自然災害や感染症など、平常時及び緊急時の初動や早期復旧に備え行動計画等を策定し、サービスの継続や事業の存続を確保していきます。

### (3) 主な安全管理

- ・自然災害対策
- ・施設設備安全対策
- ・衛生対策
- ・不審者防犯対策

## 10. コンプライアンス

コンプライアンスは、事業の発展や成長に重要な基盤の一部であることを認識し、利用児者含め社会的信頼を得られるよう全職員が高い倫理観を持って誠実に行動します。

### (1) 行動基準及び順守すべき法令等

- ①情報の適正な保護管理
  - ・個人情報保護規程
  - ・情報システム利用要綱
- ②迅速かつ的確な情報開示並びに説明責任の遂行
  - ・情報公開規程
  - ・ホームページ等での積極的な開示
- ③良好な職場環境の確保（言動、労働環境）
  - ・ハラスメント防止規程
  - ・労働関係法令や内部規程
- ④透明かつ健全な外部との関係確保
  - ・接待や贈答(収賄行為)の禁止
- ⑤反社会的勢力等の遮断
  - ・関係断絶及び利用禁止
  - ・相談機関との連携
- ⑥環境への配慮
  - ・「省資源・省エネルギー対策実施基準」の順守

## (2) 行動基準からの逸脱

- ①法令違反や不正行為への対応
  - ・即時是正並びに再発防止措置
- ②内部通報
  - ・行動基準を逸脱する行為の強要または発見に対する上司への報告・相談
  - ・内部通報者に対する職場内での保護・配慮